神奈川県石川ひろのリ議会議員石川ひろのリ

県議会しポート2025特別号

石川ひろのり事務所

〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202

TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階

TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933





facebook

石川ひろのり 検索

住み続けたい<mark>街</mark> 麻生区のために

本当に神奈川は住みやすいのか あなたの納めた税金を 「生まれて・育って・住んで良かった」 誇りある神奈川に。

今日より明日はきっといいことがある 住み続けたい神奈川を目指して。

かながわの未来を創る・支える取組み 「暮らしと地域の未来を考える。」代表質問にて質疑

最低賃金の引き上げと中小企業支援

■ 最低賃金が10月から神奈川県で1,225 円に引き上げられる。暮らしを守る賃上げは 重要だが、中小・小規模事業者には重い負担と なる。人件費増を価格転嫁できるかが焦点で、 県内企業の転嫁率は38.6%にとどまり、運輸 や建設業などで特に困難が指摘され、経営や雇 用の継続に影響が及ぶ懸念もある。県には業界 実態の把握や相談体制の整備、取引環境改善の 後押しが求められる。さらに2026年には無形 資産も対象とする新融資制度が始まる。経営者 の学びや事業計画づくりを支援し、制度活用を 促す姿勢が求められる。今回の最低賃金引き 上げを、価格転嫁が進まない業界の実情を踏 まえてどのように受け止めているのか。その 上で、県としてどのような支援を進め、中小 企業が安定して経営を続けられるようにして いくのか。

選送知事 最低賃金の引き上げは公益・労働者・使用者代表の議論を経て決定されたもので、その決定を尊重する。価格転嫁については改善傾向にあるものの、国の調査では下請けの階層が深くなるほど転嫁率が低く、小規模企業に課題が残る。県は1月に政労使トップ会議を開催し、生産性向上と適正な価格転嫁に取り組む共同メッセージを発出。さらに国に対し監督強化や下請Gメンによる実態把握の強化を要望している。加えて40億円規模の生産性向上補助を継続し、中小企業が持続的な賃上げを実現できるよう、経営者への学びの機会の提供など総合的に支援していく。

外国人受入れ環境の強化と市町村支援

在留外国人は令和6年末で約377万人、外国人労働者は同年10月時点で約230万人と過去最高となり、雇用確保に加え、日本語教育や子どもの就学、医療・福祉、地域との摩擦など生活面での課題が深刻化している。宿泊業などでは「技人国」資格を活用した雇用が広がり、家族帯同も認められるため、一部市町では外国人住民が急増している。全国知事会は制度設計や財源確保、基本法制定を国に提言したが、市町村は急増する受入れや多言語対応に苦慮し、職員の負担も大きい。さらに、外国人労働者を受け入れた企業が十分な言語教育を行えず、その役割が自治体に委ねられている実態も市町村から伺っている。県の支援は不可欠であり、外国人を地域住民の



一員として受け入れるには、計画的な生活基 盤整備が急務である。

黒岩知事 国は人材の育成・確保を目的に育成就労制度を創設するなど、外国人の受入れを進めており、本県においても外国籍県民は年々増加している。しかし、市町村によっては人的・財政的制約から受入環境の整備が追い付いていない地域も見られる。全国知事会もこうした課題を踏まえ国に提言を行っており、県としても、外国人受入環境の整備を自治体任せにせず、国が責任を持って財政措置を講ずるよう要望していく。

また、多くの外国人が暮らす一方、受入環境に課題を抱える市町村には、県としての支援も不可欠である。具体的には、外国人労働者向け日本語講座の開催、日本語ボランティアの養成、日本語教室の開設など、市町村の取組みを後押ししていく。

教員不祥事の再発防止と信頼回復

全国で教職員による不祥事が後を絶たず、特に盗撮行為は教育への信頼を揺るがす重大問題となっている。本県でも本年度すでに5件のわいせつ事案があり、児童生徒に深刻な影響を与えている。これまで、外部専門家研修や公的携帯導入、学校環境見直しなど具体策を提案してきた。県では臨時学校長会議や研修、啓発チラシ配布、警察OB・NPO連携などに取り組むが、進捗や効果の可視化は不十分で、県民に伝わりにくい。モデル校整備や児童生徒アンケートの実施状況を含め、改善の実感と説明責任の徹底が求められる。

教育長 教員の不祥事防止に向けて、モデル校における鍵の適正管理など様々な取組みを進めてきたにもかかわらず、教員による盗撮等の不祥事が相次いでいる現状を大変重く受け止めている。県教育委員会では、今年度、教員が性犯罪等で逮捕された場合、免許の取上げや退職金の不支給に加え、自分や家族にどれだけ影響があるかを「見える化」するため、

元警察官が取調経験を踏まえて具体的に語る 研修動画を作成した。8月1日の臨時県立学校長会議では、全ての教員にこの動画を視聴させるよう指示したが、今後、市町村立学校の教員も視聴できるようにし啓発を図る。また今年度から市町村立学校を訪問し、不祥事防止について校長等と意見交換を行っている。そこで得た市町村毎のルールや運用状況を今後共有し、好事例の横展開を図る。市町村教育委員会とともに不祥事防止に全力で取り組み、教育現場の信頼回復につなげていく。

捕事案が相次ぎ、不祥事対策を取り上げた。その際、教育長が全教職員に向けて緊急メッセージ動画を発信したと承知している。今回も、性犯罪で逮捕された場合の影響を伝える動画を活用するとのことだが、教員の意識や行動の変化にどのようにつなげていくのか、また、その効果をどのように検証していくのか。教育長 逮捕された場合の影響、私からの緊急メッセージなど、今後も不祥事防止の取組みを総動員することが、教員の意識、行動の変化につながると考える。こうした取組みの変化につながると考える。こうした取組みの成果を定量的に検証すること難しい。有識者や学校長などから意見を聞いて、効果の把握に努めていく。

今回、市町村毎のルール把握や動画活用による周知徹底が示された。しかし、施策を実施するだけでなく、児童・生徒が安心して学べる環境につながっているかを検証することが重要である。再発防止には不断の改善が不可欠であり、成果の見える化と県民への丁寧な説明を重ねるよう強く求める。

- ・オーバーツーリズム対策と持続可能な 観光の推進について
- ・生活困窮者対策推進本部の取組みの 在り方について
- ・GREEN EXPO 2027におけるミュージカル 事業について

など質問しました。

詳しい質問内容はホームページをご覧ください。



活動報告

7月から8月にかけて、麻生区内の各地域で 開催された「夏祭り」に伺いました。焼きそば やフランクフルト、かき氷の販売、キッチン カーの出店など、地域ごとの工夫があふれ、ど の会場も大変にぎわっていました。太鼓や吹奏 楽の演奏や、子どもたちが元気に走り回る姿も 印象的でした。伺った際には販売のお手伝いを させていただくこともあり、皆さまと一緒にお 祭りの雰囲気を楽しむことができました。また、 多くの方から地域の課題やご意見をお聞かせいた だき大変貴重な時間となりました。



▶麻生区少年野球ジェイコム旗争奪

8月、麻生区少年野球ジェイコム旗争奪秋 季大会の開会式に出席。選手たちは元気いっぱ いに入場行進を行い、力強く堂々とした選手宣 誓で大会の幕が開きました。会場は保護者や関 係者の皆さんの温かい拍手に包まれ、選手たち の活気が伝わってきました。6年生にとっては 最後の大会となるこの秋季大会。日頃の練習の 成果を胸に全力プレーで優勝目指して頑張って ください。



▶麻生高校・麻生総合高校「文化祭」

9月、麻生総合高校「嵐舞祭」と麻生高校「鴻 志祭」(文化祭) に伺いました。両校とも、部活 動の発表やクラス企画など個性あふれる催しが 盛りだくさんで、茶道部の生徒が点ててくれた お茶をいただいたり、音楽発表でのピアノ・ キーボード演奏を楽しませていただきました。 また、先生方や地域の方、PTAの皆さまからも お話を伺うことができ、学校の雰囲気や普段の 生徒の様子を知る貴重な機会となりました。来 年度進学を控えた中学生や保護者の方々が、直 接学校の雰囲気を体感されている様子も印象的 でした。いただいた現場でのお話を、今回の代 表質問の内容に反映させていただきました。





▶第110回 院展

9月、東京都美術館で開催された「第110回院展」に伺いました。 麻生区在住で日本を代表する日本画家・大矢紀先生の作品「北の山河 月昇る」が展示されており、多くの方が足を止めて鑑賞されていま

した。静かな中に月の光が柔らかく差し込 む風景が印象的で、落ち着いた時間を楽し むことができました。また、大矢十四彦先 生をはじめとする多くの作品も拝見し、短 い時間ではありましたが、心豊かなひとと きを過ごさせていただきました。



▶岡上西町会「敬老祝賀のつどい」

9月、岡上西町会「敬老祝賀のつどい」に 出席。会場には、もうすぐ100歳を迎える方数老祝賀のつどし も参加され、長寿の秘訣をお伺いしながら皆 さんでお祝いをしました。また、多くの方と 交流させていただき、豊富な人生経験に基づ くお話を伺うことができました。地域のつな がりが希薄になりつつあると言われますが、 地域行事等を通じて皆さんが「顔の見える関 係」を深めています。今後も、生きがいをも ちながら地域で安心して暮らせる社会づくり が一層進むよう尽力して参ります。



『持続可能な県財政

県政報告(タウンニュース掲載) 2025年7月25日



石川ひろのり

こ提案を続けています。 入確保策を推進すべき

いて質疑を行いました。光財源の確保」などにつ 光財源の確保」 かながわ未来 税収基盤の強化」 月25日に閉会する中、 県政報告vol.59 盤強化に向 \mathcal{O}

ミングライツや企業版ふ 基盤の強化に加え、ネー 拡充を求めました。 るさと納税など短期的に サービスを将来にわたり に数百億円規模の財源不 安定的に提供し続けるた 足が続いています。 私は中長期的な財源 が見込める施策の しに必 必要な行政ます。県民 提案しました。東京都とでも積極的な導入拡大を 中、県として実効性あるの財源格差が指摘される とする事例をあげ、本 や公衆トイレなどを対象

(麻生区選出 総務政策常任委員会にて質疑 実績が順調に伸びていま 版ふるさと納税は、 0) ネーミングライツに 石川

「観光財

石川ひろのり 殿へのご観 事務所 麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202 **☎044・** 455.6611 ウェブサイト

□ 38 回

□ 38 回

□ 37 回

を ましたが、観光公害が深 がでしょうか。県が毎年 がでしょうか。県が毎年 がでしょうか。県が毎年 度導入の検討を提案して財源確保の両立に向けた財源確保の両立に向けた います。 をお寄せください。 皆さまのご意見 いて研究

『持続可能な県財政へ』総務政策常任委員会にて質疑 税収基盤強化と観光財源の確保を提案

駅頭·街頭活動

麻生区内の各駅にて、皆さまの通勤・通学時間帯 を中心に活動報告をお配りしています。毎回多くの お声掛けをいただき、地域の皆さまの声を直接お聞 きする貴重な機会となっております。お見かけの際 はぜひご意見・ご要望をお聞かせください。





事務所

スタッフ募集

石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員 岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を 経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選(現在3期目)。麻生区在住。引きこもり支援相談士。

味:ジョギング(湘南国際マラソン大会・横浜マラソン大会などに出場。自己ベスト記録 3時間29分29秒) 好きな言葉:「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。

そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりホームページ▶



▶石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。 😝 石川ひろのり 🕸 素

石川ひろのり事務所では、週2日程度(平日)勤務できるスタッフを募集しています。詳細は石川ひろのりのホームページからお問い合わせください。 また、随時ボランティアスタッフやポスター掲示にご協力いただける方を募集しております。皆さまの温かいご支援・ご協力をお待ちしております。

石川ひろのりの活動への 石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させて頂きます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。 ご支援(個人献金)のお願い ▶石川ひろのり後援会 【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777) 【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの ご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614または	ご意見など	お名前	TEL	
右上QRコードより ホームページ CONTACTから ご連絡ください。		ご住所		